

近畿中国森林管理局

広島北部森林管理署 ひろほく通信

民国連携した林産物の安定供給システム

人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を両立させることが課題となっています。このようなことから、広島北部森林管理署では、**民有林関係者との連携**を図り、木材の安定供給にも取り組んでいます。この取組の一環として、民有林と国有林の口トをまとめて有利販売する「**民有林と国有林が連携した林産物の安定供給システム販売に係る協定締結式**」を8月27日、広島北部森林管理署において行いました。協定者は、近畿中国森林管理局長と民有林の出材者が安芸北森林組合で、需要者が広島県森林組合連合会の3者です。今回の協定に基づき、広島北部森林管理署がスギ 500m³、安芸北森林組合がヒノキ 50m³を生産し、県森連が買受け・活用していきます。



森林経営管理地域調整会議に出席しました

広島北部森林管理署では、**森林経営管理制度運用2年目**を迎え、更なる民国連携、民有林支援が重要だと考えており、管内市町の**地域調整会議**参画を目指しています。地域調整会議に参画することで、これまで以上に国有林に対するニーズを把握し、ニーズの実現、森林経営管理制度運用における地域の課題解決に向けて、民国連携した取組が展開できるものと考えています。7月9日に三次市、8月18日には、神石高原町森林経営管理調整会議に出席しました。今後、三次市、神石高原町では意向調査や調査結果に基づく経営管理権集積計画策定などが進められますが、広島北部森林管理署では、それらの民有林に近接・隣接する国有林に関する情報の提供、森林施業計画の調整などを図り、関係市町の森林経営管理制度がスムーズに運用するよう支援していきます。



林務担当者等と苗づくりを学びました

広島北部森林管理署では、管内市町の林務担当者の技術向上を目的とした勉強会、現地検討会に昨年度から取り組んでいます。これまで、森林のもつ多面的機能、森林施業、森林・林業・木材産業の現状に関する座学に加え、列状間伐、ニホンジカ対策、作業道作設技術に関する現地検討会を行ってきました。

今年度第1回目の勉強会を、「**広島県の苗づくり**」をテーマに、安芸高田市及び安芸北森林組合の林務担当者等を対象に、8月19日行いました。広島県林業課、広島県樹苗農業協同組合から、広島県内の育種事業や苗木の需給の仕組みに関する座学を行い、午後には、浜田樹苗圃の苗畑(安芸高田市)に会場を移し、実際の苗づくりを学びました。広島北部森林管理署では、引き続き、市町の林務担当者の技術向上に取り組めます。



近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
 TEL:0824-62-2155/FAX:0824-62-2156
 〒728-0012 広島県三次市十日市中2-5-19

